

令和5年度 鹿児島純心女子短期大学
江角学びの交流センター評議員会

令和6年3月15日（金）

鹿児島純心女子短期大学
江角学びの交流センター

令和5年度鹿児島純心女子短期大学地域貢献活動報告

【本学の連携協定一覧】

- (1) 鹿児島純心女子短期大学と株式会社ポケモンプロとの産学連携に関する協定
(平成24年1月1日～平成29年3月31日)
→(6)一般社団法人チェスト連合へ移行
- (2) 鹿児島純心女子短期大学生の言語活動充実と新聞活用に関する協定
(平成25年3月15日～)
- (3) 鹿児島純心女子短期大学と錦江町との包括的連携に関する協定
(平成26年3月14日～)
- (4) 鹿児島市と鹿児島純心女子短期大学との包括連携に関する協定
(平成28年2月2日～)
→鹿児島市大学連携ネットワーク会議(市内6大学・短大)へ移行
- (5) 本場大島紬織物協同組合と鹿児島純心女子短期大学との産学連携に関する協定
(平成28年2月18日～)
- (6) 鹿児島純心女子短期大学と一般社団法人チェスト連合との産学連携に関する協定
(平成29年4月1日～)
- (7) 地方創生への取組みに関する連携協定(鹿児島銀行と県内8大学・短大・高専)
鹿児島の次世代を担う「人材・産業」育成プラットフォーム「ネクストかごしま」
(平成29年4月7日～)
- (8) 株式会社松栄軒と鹿児島純心女子短期大学との産学連携に関する協定
(平成29年7月10日～)
- (9) 私立鹿児島純心女子短期大学と鹿児島市立鹿児島女子高等学校との高大連携に関する協定
(令和4年5月30日～)
- (10) 鹿児島純心女子短期大学と一般社団法人鹿児島市保育園協会との包括連携に関する協定
(令和5年4月6日～)
- (11) 鹿児島純心女子短期大学と学校法人聖マリア学園認定こども園聖母幼稚園との包括連携に関する協定
(令和5年4月6日～)
- (12) 私立鹿児島純心女子短期大学と鹿屋市立鹿屋女子高等学校との高大連携に関する協定
(令和5年9月27日～)

1 江角学びの交流センター主催事業

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、「純心市民講座・純心こども講座」は例年通り開催できた。受講者数も前年度に比べ増加傾向にある。また、学生の学外研修やボランティア活動をはじめ、学外活動や学園行事も従来通り実施することができた。本来の教育活動の復活を感じられた一年であった。

また、本評議員会も昨年度に引き続き対面での開催の運びに至った。

令和5年度外部評議員（順不同・敬称略）

- ・鹿児島県教育庁かごしま県民大学中央センター所長（兼）生涯学習課長 下屋敷 由貴子
- ・鹿児島市市民局市民文化部参事市民協働課課長 櫻井 正実
- ・鹿児島県錦江町観光交流課課長 木下 勝幸
- ・株式会社鹿児島銀行地域支援部部長 小笹 康浩

（1）純心市民講座・純心こども講座

①令和5年度「純心市民講座」実施状況

	講座名	講師	定員	受講者数	会場
1	シルバー世代のための健康・教養講座 7/15 7/22 7/29 8/19 8/26（土） 13時30分～15時 （全5回） （かごしま県民大学とことんまなぶ一講座）	河野 一典 榊 順子 高岡 綾子 大迫 貴 西田 一豊	各回 30名	延べ128名	かごしま県民交流センター
2	親子でクッキング 8/10（木）10時～13時	進藤 智子	20組	12組（26名）	本学調理実習室
3	親子楽しく実験！ 8/18（金）13時～16時	新里 葉子	10組	15組（31名）	本学実験室
4	冬のおもてなし料理 11/25（土）10時～13時	大山 典子	20名	20名	本学調理実習室
5	お洒落なペットボトルカバーを作ろう 7/15（土）13時～16時	宮地真奈美	12名	8名	本学被服実習室
6	パッチワークで手提げを作ろう 8/23（水）13時～16時	濱崎 千鶴	15名	8組（11名）	本学被服実習室
7	はじめての英会話 幼児コース（春季） 6/24 7/1 7/15 7/22 7/29 （土）（全5回） ①4・5歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	John Tremarco	①10名 ②12名	①6名 ②7名	本学プレイルーム
8	はじめての英会話 幼児コース（秋季） 10/7 10/21 10/28 11/11 11/25 （土）（全5回） ①4・5歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6		①10名 ②12名	①6名 ②7名	

9	はじめての英会話 小学生コース (春季) 6/24 7/1 7/15 7/22 7/29 (土) (全5回) ①低学年コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	Stephen Hill Paul Johnstone	①15名 ②15名	①12名 ②6名	本学 講義室 (2-206)
10	はじめての英会話 小学生コース (秋季) 10/7 10/21 10/28 11/25 (土) (全4回) ①低学年コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 6/25 7/16 7/23 7/30 8/6	Paul Johnstone Stephen Hill David O'Connor	①15名 ②15名	①12名 ②3名	

②令和5年度「純心こども講座」実施状況

	講座名	講師	定員	受講者数	会場
11	リズムあそび ①6/17 ②10/14 ③12/9 (土) 10時00分～11時00分 (全3回)	萩原香織	各回40組 (全3回)	①8組 (19名) ②12組 (27名) ③13組 (30名)	本学 体育館
13	いろとあそぼう・かたちとあそぼう ①6/17 ②10/14 ③12/9 (土) 10時00分～11時00分 (全3回)	榊本容好	各回20組 (全3回)	①13組 (33名) ②12組 (30名) ③16組 (39名)	本学プレ イルーム (③のみ 体育館)

(2) 地域人間科学研究所編『想林』第15号 (令和6年3月30日刊行予定)

<特集> 桜島火山災害軽減対策の課題

特別寄稿 / Special Edition

桜島における火山災害軽減に関する考察……………井口 正人

論文 / Article

桜島ブルカノ式噴火の確率的噴火予測にむけて……………石井 杏佳

江角学びの交流センター活動報告 / General Information

他

2 各学科・専攻・コースの取組状況

(1) 生活学科生活学専攻現代ビジネスコース

① 純心水田プロジェクト

例年と同じ錦江町田代川原地区で実施、無農薬のコシヒカリを栽培

田 植 え	4月8日(土)	学生 13名	教職員 1名	計 14名
除草作業・影絵作成	5月6日(土)	学生 14名	教職員 1名	計 15名
稲刈り	8月 台風のため中止			



除草作業の様子



学生が制作した影絵

② 交流事業

- ・ やまんなか音楽会 2023 in はなぞ「繋がる」2023 (主催 錦江やまんなか協議会)

9月2日(土)・3日(日) 場所 花瀬自然公園

学生 19名 教職員 1名 計 20名

牛乳パックやペットボトルに学生が様々なイラストを描き制作した灯籠にキャンドルを入れ、点火と消火の活動を行った。翌朝、会場周辺の片づけを行った。



やまんなか音楽会の様子



やまんなか音楽会の片付け

- ・ 令和5年度錦江町いきいき秋祭り (主催 錦江町いきいき秋祭り実行委員会)
農林水産物や軽食の販売、魚の解体ショーなど様々な催しが行われる
11月12日(日) 場所 錦江町総合運動公園
学生 5名 教職員 1名 計 6名
受付・抽選会・お魚解体ショー等、会場内の様々なイベントの手伝いを行った。
- ・ 第37回桜島・錦江湾横断遠泳大会
(主催 第37回桜島・錦江湾横断遠泳大会実行委員会)
9月10日 場所 磯海水浴場 学生 13名 教職員 2名 計 15名
- ・ 第10回鹿兒島鴨池リレーマラソン (主催 セイカ・ユナイテッドグループ)

12月3日(土) 場所 鹿児島県立鴨池陸上競技白波スタジアム

学生 26名 教職員1名 計27名

「遠泳大会」「リレーマラソン」では、ボランティアスタッフとして、受付・表彰・景品の配布等、運営のサポートを行った。選手の方への声かけや応援を積極的に行うだけでなく、主催者や運営者の方々とのコミュニケーションを意識的に取り、連携することの大切さを学んだ。

③ 茶の実プロジェクト

今年度は、製品化にむけてお茶の実へアオイルの商品名・パッケージ案を募集し、検討を行った。また、10月に昨年度より多いお茶の実32.5kgを収穫し、学内でからむきしたお茶の実11.4kgから種子島の『種の実オイル工房』で約2Lのオイルを抽出した。この取り組みは、テレビ局の取材を受け、後日、KTSで放送予定である。

・ お茶の実収穫

10月28日(土) 錦江町盤山地区で茶の実摘みを実施

学生 8名 教職員1名 計9名

・ ワークショップ体験

令和6年2月29日(木)、南大隅町ボタニカルファクトリーでワークショップ体験

学生7名 卒業生1名 教職員1名 計9名

お茶の実オイルで作る商品の香りを決めるためワークショップに参加し、学生の調合した香りから製品化するための香りを1つに絞る事ができた。



お茶の実収穫の様子



ワークショップ体験の様子

④ かごしまお茶マルシェ 2023 (主催 (一社)鹿児島県茶生産協会)

11月24日(金)・25日(土) 場所 アミュ広場 学生19名

学生が梱包作業にも携わり、錦江町の深蒸し茶(大根占茶)と浅蒸し茶(田代茶)と「ほうじ茶入りのまるぼうろ」のセットを販売した。パッケージは卒業生のアイデアによるものである。

⑤ 錦江町の特産品販売

・ 半島隅くじら元気市 2024 (半島隅くじら実行委員会 (南さつま市役所商工水産課内))

2月10日(土)・11日(日) 場所 鹿児島市かんまちあ 学生18名

販売スタッフとして参加し、錦江町のPRコーナーでは、学生が今までの地域貢献活動で得た学びや、錦江町の魅力を紹介した。

・ 錦江町 産直市場 (錦江町観光交流課)

令和6年3月2日(土) 学生5名・3月3日(日) 学生8名

オプシアミスミで開催され、錦江町の特産品販売やPR活動を土曜日は1年生、日曜日は2年生を中心に行った。

⑥ 錦江町とのコラボスイーツ第9弾

当初、純心水田のお米を使った商品を検討していたが実現にはいたらず、原製菓の「ひとくちげ

たんは」に錦江町産のお茶を練り込んだ商品を企画し、販売することになった。

- 商品開発会議
第1回令和5年9月28日(木)～第5回令和6年1月19日(金) 計5回実施
- CM撮影(本学): 令和6年2月28日(土)
- 発売日: 令和6年3月14日(木)



商品開発会議の様子



パッケージ



店頭販売の様子

- ⑦ **みつばちプロジェクト** (主催者 城山観光株式会社山の森みつばちプロジェクト)
城山の森のみつばちで蜂蜜を作り、オリジナルの蜂蜜を作る体験を通して、プロジェクトに参加する小学生にミツバチについて詳しく知り学んでもらう。

場所 城山ホテル鹿児島

チーム作り・巣箱の観察ほか	4月9日(日)	学生4名	教職員1名	計5名
採蜜体験会	5月14日(日)	学生9名		計9名
ラベルデザイン作成	6月11日(日)	学生5名		計5名
養蜂家さんとの勉強会	7月9日(日)	学生6名		計6名

[南日本新聞への掲載]

- 令和5年4月13日 14面
商品開発材料に鹿児島純心女短生が田植え／錦江町
- 令和5年5月14日 21面
影絵オブジェ、鹿児島純心女子短大生が制作／錦江町の海岸で観光PR

(2) 生活学科生活学専攻デザイン表現コース

ア. 作品展(展示) *公募展へ出品し、入選・入賞作品が展示された

① 第69回県美展

(令和5年5月20日～28日 鹿児島県歴史・美術センター黎明館/鹿児島市立美術館)
ポスター16点、陶芸2点、キルト8点、洋画1点の作品を出展し、入選した。



陶芸
「Orcinus Orca」



キルト
「a place in my heart」

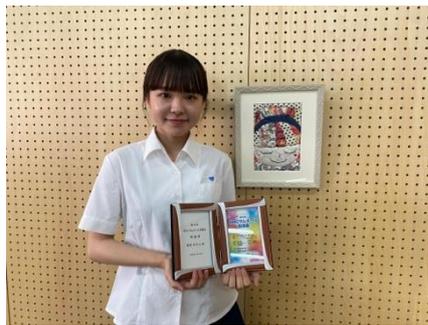


イラストレーション
「水面の鏡」

② 第36回MBCサムホール美術展

(令和5年7月14日～7月23日 鹿児島県歴史・美術センター黎明館)

陶芸7点、キルト9点、洋画1点の作品が入選、キルト作品1点奨励賞を受賞した。



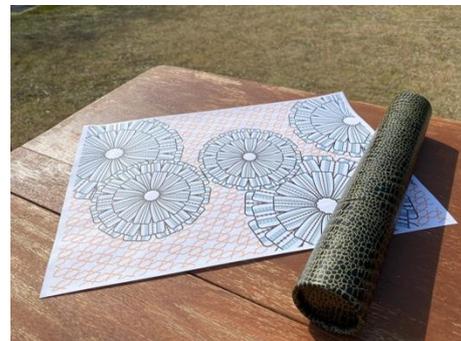
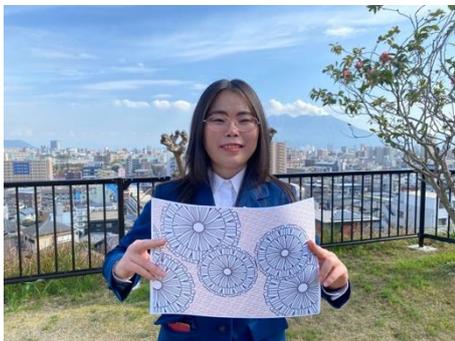
奨励賞
キルト「stick with you」



陶芸「My play List」

③ 第8回本場大島紬デザイン画公募展

鹿児島ひっとべの会（本場大島紬織元有志の会）が主催する「第8回大島紬デザイン公募展」にデザインを応募し、入賞した。このデザインは今後、商品化される予定。



きびなごの刺身をイメージしたデザイン

イ. デザイン依頼

① 「かごしま国体」 お弁当パッケージデザインを考案

令和5年10月に開催された「かごしま国体」で、期間中に鹿児島市の競技会場で選手などに提供されたお弁当のパッケージデザインに、デザイン表現コース2年生3名のデザインが選ばれた。



選ばれた3つのお弁当箱デザイン

② 「第43回ランニング桜島」オリジナルTシャツ・タオル、デザイン採用 (令和5年11月26日)

鹿児島市スポーツ課より本学へ「第43回ランニング桜島」のオリジナルTシャツ・タオルのデザイン依頼がありデザイン表現コース2年生2名のデザインが採用された。



選ばれたTシャツ・タオルのデザイン

③ 「アップルカスタードタルト」パッケージデザインを考案

南九州ファミリーマートと鹿児島純心女子短期大学とのコラボ商品として、令和5年11月7日から鹿児島県・宮崎県のファミリーマート389店舗で発売された「アップルカスタードタルト」のパッケージデザインを、デザイン表現コースの学生が考案した。



ウ. 卒業制作展開催

令和6年2月20日(火)～25日(日)鹿児島県歴史・美術センター黎明館の第3特別展示室にてデザイン表現コース2年生が「鹿児島純心女子短期大学 デザイン表現コース 卒業制作展 2023」を開催した。学生が2年間で制作した陶芸、キルト、ビジュアルデザイン、ドレス、大島紬の洋装の作品を展示し、6日間で697名の来場者に鑑賞いただいた。



「卒業制作展 2024」会場の様子

エ. 鹿児島について学ぶ授業

① 「かごしまの芸術」2年前期開講

鹿児島にゆかりのある美術・工芸・文学作品の内面を深く探る授業である。学生たちは鹿児島ブランドショップやかごしま近代文学館を見学し、郷土の芸術の「今」について学んだ。



学外研修の様子

② 「大島紬研究Ⅰ・Ⅱ」2年前期・後期開講

大島紬の歴史や現状を理解し、学生たちの若い感性で洋装のドレスをデザイン・製作し、大島紬の活性化を目的とした授業である。



大島紬についての講話



大島紬の図案についての講話

オ. 大島紬ファッションショー

本場大島紬織物協同組合の依頼で、令和6年2月23日（土）にマルヤガーデンズで大島紬ファッションショーを行った。



カ. 商品企画

「ファッション販売Ⅱ」を履修したメンバーで大島紬の商品企画に挑戦した。販売を窪田織物に依頼し商品化が決定。令和5年10月2日に開催された「2023 かごしまの新特産品コンクール」に出品し、鹿児島県特産品協会理事長賞を受賞した。



(3) 生活学科こども学専攻

1 純心こども講座

「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の2講座を企画・実施した。

春季講座として5月と6月に実施したが、5月の講座は近隣の幼稚園、認定こども園の園児を招待して開催した。秋季講座は10月と12月に実施し、12月の講座は昨年同様、「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の合同開催とし、クリスマスの雰囲気を楽しめる講座となった。



純心こども講座（左：リズムあそび、右：いろとあそぼう・かたちとあそぼう）



純心こども講座（12月）の様子

2 「鹿児島市すこやか子育て交流館りぼんかん」と連携した活動

鹿児島市との包括的連携協定に基づき、「りぼんかん」での活動に学生を派遣するなどした。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたのを受け、夏まつりのコーナー遊びは、200名規模に対応できるよう準備を行った。

①「りぼんかん夏まつり」でのボランティア活動

日時：令和5年8月5日（土）9時30分～12時30分、13時30分～15時00分

内容：「りぼんかん夏まつり」でのコーナー遊びの提供、活動の補助

参加学生数：午前の部：7名（2年生5名、1年生2名）、午後の部：6名（全て1年生）

本学からは、クリアファイルとシールを用いたバック作りのコーナー遊びを提供した。クリアファイルを用いたバック作りは、6月の純心こども講座で参加者に配布した参加賞をヒントに、幅広い年齢の子どもたちが楽しめるよう工夫した。

②児童虐待防止推進月間ポスター展示

展示期間：令和5年11月1日～11月31日

児童虐待防止推進月間にあわせて、啓発ポスターを作成し、掲示した。

③市民向け講座への講師派遣

事業名：ピアサロン 1歳児あつまれ！「イヤイヤ期を楽しく乗り切ろう」

日時：令和6年2月29日 11時00分～12時00分

内容:イヤイヤ期(2歳前後)の子どもの特性

イヤイヤ期(2歳前後)の子どもを持つ保護者を対象に、イヤイヤ期の発達的特徴、楽しく乗り切る方法について話題にした講座を提供する。今年度は、話題提供とともに個別での質疑応答の時間を設ける内容となっている。

3 こどもバンドの活動—JA鹿児島県中央会「県内短期大学への活動支援」事業—

JA鹿児島県中央会「県内短期大学への活動支援」事業より助成を受け、こどもバンドは計6回の学外活動を実施し、令和6年1月11日、JA鹿児島県会館で活動報告会に参加し、以下のとおり鹿児島市保育園協会主催「保育フェア」、鹿児島市主催「まちなか音楽彩」、竜谷学園系列の保育園・幼稚園合同の「報恩講」等の活動について発表した。



①鹿児島市すこやか子育て交流館りぼんかんでの演奏

日時：令和5年8月22日(火)14時30分～15時00分・23日(水)10時45分～11時15分
参加学生数：1年生28名(内訳：22日14名・23日14名)



②「保育フェア」での演奏

日時：令和5年10月9日(月・祝)11:00～11:20/14:45～15:05

場所：アミュ広場

内容：鹿児島市保育園協会主催のイベント「のぞいてみよう みてみよう 子どもの世界 保育の世界」での演奏

参加学生数：18名(2年生5名、1年生13名)



③かごしままちなか文化彩（主催：鹿児島市）での演奏

日時：令和5年11月19日（日）11時30分～16時30分（出演は15時32分～）

場所：加治屋まちなか公園

内容：「集え！かごしま彩（いろどり）フェス in 加治屋まちなか公園」での演奏

参加学生数：14名（全て1年生）



④竜谷学園報恩講園児参拝での演奏

日時：12月11日（月）11:15～11:35

場所：本願寺鹿児島別院本堂

内容：報恩講に参加した園児の前での演奏

参加学生数：32名（1年生）



⑤鹿児島市親子つどいの広場「なかまっち」での演奏

日時：12月17日（日）10:30～11:30分

内容：「こどもバンドファミリーコンサート」において、参加した親子に向けて演奏
参加学生数：29名（全て1年生）



⑥たけおか保育園「クリスマス会」

日時：12月22日 9:50～10:10分

内容：約70名の子どもたちの前で音楽のクリスマスプレゼント。平日で授業があるため、学生2名、教員1名のみのバンド編成。



(4) 生活学科食物栄養専攻

①「燃ゆる感動かごしま国体」における無料ふるまいコーナー運営業務

日時：令和5年9月16日 場所：鴨池野球場

昨年度の「燃ゆる感動かごしま国体」で選手・役員に配布される弁当開発に引き続き、今年度はふるまい料理として鹿児島県の郷土菓子「ふくれ菓子」を製作しふるまい、国体を盛り上げた。

○ふるまい料理：ふくれ菓子（300個）



○製作風景



○提供風景



② 第8回かごしま食育フェスタの出展

日時：令和5年11月4日 場所：鹿児島中央駅アミュー広場

『食でつながる元気なかごしま』をテーマに、本学では「豆つかみ競争」、「豆についてのクイズ」、「オリジナル缶バッチづくり」などを企画。多くの方々にご来場くださいました。こどもから大人まで食育体験を通して楽しんでいただきました。





③ 市民向け講座の講師派遣

榎 順子教授

霧島市「舞鶴大学・大学院学習会」

日時：令和5年6月20日

場所：霧島市民会館

演題「五感を磨いて、しっかり噛んで健康に！」

(5) 英語科

① ボランティア活動

i) 「イギリス競泳チーム鹿兒島キャンプ」(鹿兒島市観光交流局観光交流部スポーツ課募集)

7月13日(木)～7月19日(水) 鴨池公園水泳プール他 1年生5名、2年生3名、教員1名 選手の案内、六月灯のアテンド等

ii) 「ハーティーパーティ 新入外国人歓迎交流会」(鹿兒島市国際交流財団募集)

6月18日(日) かがしま国際交流センター 1年生2名、2年生2名 司会、異文化体験ブースの補助、案内等

iii) 「第16回かがしまアジア青少年芸術祭」(かがしまアジア青少年芸術祭実行委員会募集)

7月1日(土)～12月2日(土) かがしま国際交流センター・宝山ホール・中央公園 1年生18名 班ごとの企画と準備、ステージ発表補助、ブースのアテンド、司会等



芸術祭ステージ発表の補助



書道体験ブースのアテンド

② 地域団体との連携による国際交流

i) セントフランシス学園（マレーシア）との交流（かごしまアジア青少年芸術祭実行委員会との連携）

11月27日（月） 本学体育館他 マレーシアの高校生16名、引率者4名、本学英語科1年生26名、純心中学1年生41名 マレーシアの伝統舞踊の披露・体験、おはら節の踊り体験、鹿児島クイズ等

ii) 徳成女子大学（韓国）との交流（鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターとの連携）

1月16日（火） 本学学内 韓国の学生20名、本学英語科1年生26名・2年生16名 韓国文化・鹿児島についての発表、韓国の踊り・遊びでの交流等



マレーシアの高校生との交流



韓国の大学生との交流

③ 鹿児島県主催イベントへの協力

「留学フェア2023（世界とつながれ！かごしまグローバル人材育成講演会）」（鹿児島県教育委員会主催） 6月18日（日） かごしま県民交流センター 教員2名 ブース出展、海外留学・研修についてのプレゼンテーション等



留学フェア ブースでの個別相談

④ 英語科地域志向科目—本学教育課程での取り組み例—

・「国際交流ボランティア」（1年後期）

鹿児島市国際交流財団と連携し、ボランティア活動を通して鹿児島における国際交流や外国人支援に協力した（活動の詳細は、「2 各学科・専攻・コースの取組状況（5）英語科①ボランティア活動」の記述を参照）。

・「サブカル英訳 ‘かごしま’」（2年前期）

一般社団法人 chests 連合企画の4コマ漫画『薩摩剣士隼人』・『薩摩剣士隼人 chests!!』

(南日本新聞連載)を14作品英訳した。

・「英語で案内する鹿児島」(2年後期)

学外実習として、鹿児島まち歩き観光ステーションのボランティアガイドによるまち歩きツアーに参加し、鹿児島市街地の歴史を学んだ。また、学期末には、外国人観光客に鹿児島の魅力をアピールする体験型企画を学生一人一人が発案し、プレゼンテーションを行った。



まち歩きで薩摩辞書の碑の説明を聞く



外国人観光客向け体験型企画の発表

3 令和5年度入学生「地域志向型科目」一覧～本学教育課程への取り組み～

(1)総合人間科目(全学共通)

- ・「かごしま学Ⅰ」(1年前期) ・「かごしま学Ⅱ」(1年後期)
- ・「かごしまの未来プロジェクト」(2年通年)「ラーニングスキルズ」(認定単位)

(2)生活学科生活学専攻

- ・現代ビジネスコース
 - ・「地域貢献プロジェクト」(2年後期)
- ・デザイン表現コース
 - ・「かごしまの芸術」(2年前期)
 - ・「大島紬研究Ⅰ」(2年前期)「大島紬研究Ⅱ」(2年後期)

(3)生活学科こども学専攻

- ・「こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ」(1年通年)

(4)生活学科食物栄養専攻

(5)英語科

- ・「英語で案内する鹿児島」(2年後期)
- ・「国際交流ボランティア」(1年後期)
- ・「サブカル英訳‘かごしま’」(2年前期)

取組事例)

○「かごしま学Ⅱ」(1年後期・「総合人間科目」)

(1)鹿児島市：まちづくり人材育成連携事業

「かごしま学Ⅱ」(1年後期)は、課題解決型授業(Project Based Learning)を取り入れている。毎年、包括連携協定を結んでいる鹿児島市のご協力のもと「まちづくり人材育成連携事業」(市民協働課主管)の一環として、ワークショップ形式の授業を実施している。今年度7名

の受講生は、グループワークをとおして自分たちのアイデアをまとめ、パワーポイントを使って意見発表をし、学外の講師の方々からの講評、質疑応答によってフィードバックを受けた。

・ワークショップ①鹿児島市企画部地方創生推進室

令和5年10月24、31日、11月7日の3回にわたり、鹿児島市企画部地方創生推進室のスタッフが授業を担当。「若者の地元定着に向けた効果的な取組」および「まちの魅力を高める効果的な取組」という課題をあたえられ、グループごとに意見をまとめ発表した。



・ワークショップ②鹿児島市市民文化部地域づくり推進課

令和5年11月14、21、28日の3回にわたり、鹿児島市市民文化部地域づくり推進課のスタッフが授業を担当。「鹿児島市周辺5地域の活性化」というテーマのもと、「JR喜入駅の活用」および「郡山地域でのe-Bikeの活用」という課題をあたえられ、グループごとに意見をまとめ発表した。民間会社から派遣されている地域活性化アドバイザーの方々も交えて活発な意見交換がなされた。



(2)鹿児島市下鶴隆央市長との意見交換会

令和5年12月19日、鹿児島市下鶴隆央市長をお迎えし、「市長との意見交換会」を開催した。先のワークショップの成果を、代表グループが下鶴市長の前で提言発表し、講評をいただいた。その後、講話として、市長ご自身の学生時代の体験に基づく教訓と若者に向けたメッセージをお話しいただいた。質疑応答の時間では、リーダーシップ論等、市長の個人的な意見に

迫る質問まで飛び出した。一つひとつ丁寧な説明で答えていただいた。



(3) 学外研修

令和6年1月21日(日)、学外研修を実施した。大木公彦氏(鹿児島大学名誉教授)の案内で、照国神社・城山遊歩道・御楼門を散策し、火山灰層(シラス台地)、市街地の地形の成り立ち、鶴丸城の水路跡等々、城山周辺の自然と史跡について学んだ。



〇かごしまの未来プロジェクト(1年・2年通年)

- ・「令和5年度 かがしま青年塾」(かがしま県民大学中央センター主催)
6月～12月(全7回) 参加学生1名(現代ビジネスコース)

4 社会人の学び直し講座（リカレント教育）

・履修証明プログラム（江角学びの交流センター主催）

平成30年度より、社会人を対象とし、多様なニーズに応じた様々な分野の体系的な知識・技術等の修得を目指す学習プログラムを開設し、その修了者に対して法に基づく「履修証明書」を交付している（学校教育法第105条等）。内容は本学の教育・研究資源を生かし一定の教育計画の下に編成された教育プログラムで、実際には本学の正規授業科目を学生とともに受講する（90時間以上、3～4科目）。社会人の学習機会を提供し、その修得をとおして職業キャリアの形成に生かされることを期待するものである。

【対象】社会人（18歳以上の女性）

【開講日】目的・内容に応じ、総時間数90時間以上で開講

【講座名】

- 1 「簿記会計・経営学プログラム」
- 2 「大島紬洋装製作プログラム」
- 3 「包括的子育て支援プログラム」
- 4 「栄養士のための学び直し講座」
- 5 「外国人のための日本語・日本文化プログラム」

【証明書】

プログラムの修了者には、学校教育法105条の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した履修証明書を交付。

【受講料】1単位：10,000円

【令和5年度実績】

- 5 「外国人のための日本語・日本文化プログラム」1名（英国出身留学生）

(了)